

都市とITとが出合うところ

福田知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT（情報技術）とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出合うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第59回

VRサマーワークショップ インウェリントン(2)

VRワークショップ DAY1

ビクトリア大学ウェリントン テアロキャンパスでは、進行役の小林佳弘氏（アリゾナ州立大学）より、今回のワークショップ・テーマ「ペチャクチャ・ナイト」が披露された。これは、48時間で新たなVRシステムに関するアイデアをまとめ、その一部をシステム開発し、プレゼンテーションするものである。このアイデアソン+ハッカソンの進め方は昨年とほぼ同じであるが、プレゼンテーションで用意するスライドは20枚厳守で、各スライドは20秒で話すことというルールが加わった（20秒で自動的に次のスライドへ。持ち時間は400秒=6分40秒）。

アイデアソンでは、トレーシングペーパーがメンバーに配られ、新たなVRプロジェクトの提案内容を書きこんでいく。そして壁に貼り出して、アイデアを順に発表していく。他のメンバーや隣フォーラムエイト開発スタッフが質問や改良案を出しあい、ブラッシュアップしていく。

DAY2—3

DAY2の朝には共通の開発テーマとなりそうな提案を結び付けて、以下のような6チームとなった。

- ・ Ruth Ron氏（フロリダ大学）× Amar Bennadji氏（ロバートゴードン大学）：UC-win/Roadアドバンスユーザエクスペリエンス
- ・ Marcos Novak氏（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）× 筆者：汎用画像処理シミュレーションフレームワーク開発

- ・ Kostas Terzidis氏（同済大学）× Paolo Fiamma氏（ピサ大学）：BIMと駐車場の新たな展望
- ・ Thomas Tucker氏 & Dongsoo Choi氏（バージニア工科大学）：VRを活かした発掘作業管理と考古資料電子保存システム開発
- ・ Matthew Swarts氏（ジョージア工科大学）× Marc Aurel Schnabel氏（ビクトリア大学ウェリントン）：VRインタラクティブ型エンタテインメントデバイスの開発
- ・ 小林佳弘氏（前掲）× 榎原太郎氏（ニュージャージー工科大学）：マシンラーニングと機械制御技術の教育フレームワーク

チーム毎に、開発プロジェクトが本格スタートした。途中、ウェタ・デジタル社 Kevin Romond氏が「A Look Inside Weta Digital: Technology in the Service of Storytelling」と題して、オークランド大学 Uwe Rieger 氏が「Architecture per Second」と題してそれぞれ基調講演した。

ウェリントンは、映画産業の都と呼ばれ、世界有数の映画技術と才能が集結している。中でも、ウェタ社はニュージーランドの若き映画制作者たちが1993年に立ち上げた企業である。Romond氏の講演では、映画「アバター」「キングコング」などウェタ・デジタルが手がけた映画のデジタル処理技術を中心に解説がなされた。

DAY3夕方からは、ウェリントン郊外のSchnabel邸に移動して最終プレゼンテーションが行われた。Schnabel氏の手料理と段取りの凄さには脱帽した。これぞ、ベスト・プレゼンテーションと呼べるかもしれない。庭で眺めた南十字星は一生の思い出になりそうだ。

DAY4

朝からテクニカルツアーへ。まず、ウェタ社のスタジオ・ツアーに参加。映画で使われたパーツやフィギ



福田 知弘 (ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。大阪市都市景観委員会 専門委員、神戸市都市景観審議会委員、吹田市教育委員会委員、CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職兼務。NPO法人もうひとつの旅クラブ理事。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「はじめての環境デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、<http://fukudablog.hatenablog.com/>

ユアの実物(これぞVR!?)を目の当たりにした。その後、ビクトリア大学ウェリントン ミラマー・クリエイティブ・センターを訪問。最新のモバイル型VRシステムやスタジオが整備されている。

国会議事堂の閣僚執務棟はハチの巣と呼ばれる外観。前面の広場には、イギリス連邦王国16ヶ国の国旗が

並び。旧セント・ポール教会はウェリントンで最初に作られた英国国教会の大聖堂。1866年に建造されたゴシックスタイルの木造教会で、ステンドグラスが印象的であった。

帰りの機内でウェタ・デジタルの代表作「アバター」を改めて観たことは言うまでもない。



VRサマーワークショップ イン ウェリントン